



メトトレキサートを服用する
若年性特発性関節炎(JIA)の
お子さまとご家族の方へ

Contents

若年性特発性関節炎について	4
メトトレキサートについて	5
若年性特発性関節炎のタイプ別特徴	12
治療について	15
病気との付き合い方	17
治療日誌	18

はじめに

関節症状を伴う若年性特発性関節炎の治療薬として、メトトレキサートは世界中で中心的な役割を果たしています。もちろん、日本でも2008年に適応承認を取得し、治療に欠かせないくすりとなっています。この病気の改善に大きな影響を与えている生物学的製剤を使用する前にも、メトトレキサートが効果を有するかどうかがまず判断され、効果がない場合にはじめて生物学的製剤が導入されることが原則になっている現状から、ますますその位置づけが重要視されています。

今回、このくすりを安全に服用するための注意点を含めた、病気とのうまい付き合い方を、本冊子にまとめました。患者さんご家族の方に、ぜひお読みいただき活用していただけたら幸いです。

一般社団法人 日本小児リウマチ学会

理事長 森 雅亮

若年性特発性関節炎について

若年性特発性関節炎とは？

若年性特発性関節炎は、16歳未満に発症し、原因不明の痛み・腫れ・関節の運動制限が6週間以上続く関節炎と定義されています。英語名の juvenile idiopathic arthritisの頭文字をとって「JIA」とも呼ばれます。

これまでの調査から、子ども10万人あたり10～15人に発症すると推定されています。

詳しい原因はまだはっきりわかっていませんが、遺伝的要因と環境的要因が合わさって発症すると考えられています。

若年性特発性関節炎のタイプ

若年性特発性関節炎は、症状などから7つのタイプに分類されます。症状や合併症、治療内容が異なりますので主治医の先生から説明を受けてください。それぞれのタイプの詳しい内容については、12～14ページに掲載しています。

①全身型

関節型

- ②少関節炎（持続型、進展型）
- ③リウマトイド因子陰性多関節炎
- ④リウマトイド因子陽性多関節炎

症候性 慢性関節炎

- ⑤乾癬性関節炎
- ⑥付着部炎関連関節炎
- ⑦未分類関節炎

メトトレキサートについて

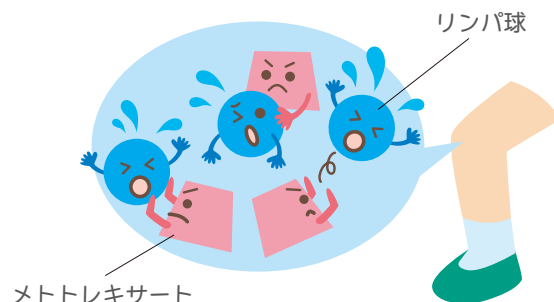
メトトレキサートについて

●薬の働きについて

メトトレキサートは、抗リウマチ薬と呼ばれる薬です。この薬は、免疫機能を担うリンパ球の働きを調整したり、細胞内の炎症物質を抑制することで、若年性特発性関節炎の患者さんにおける関節の腫れや痛みの症状を改善します。

●メトトレキサートを使用する患者さんのタイプ

主に症状や検査で異常のある関節炎を有する患者さんで、メトトレキサートが使用されます。



メトトレキサートについて

メトトレキサートの飲み方

この薬は、1週間単位のスケジュールで服用します。

医師から指示されたスケジュールで、指示された量を、多めの水またはぬるま湯と一緒に服用してください。

自己判断で服用を止めたり、薬の量を調節したりしないでください。

服用スケジュール(推奨): 1週間に1回のみ服用する

1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目
○	休	休	休	休	休	休

服薬については、週1回**朝食前の空腹時**に服薬することが推奨されています。

数回に分けて内服する方法などもありますが、効果や副作用に影響する可能性もあるので、必ず主治医の指示を守り、相談しながら服薬方法を決めてください。

服用スケジュール(変更例): 1週間に2回服用する

1日目		2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目
朝	夜						
○	○	休	休	休	休	休	休

12時間
空ける

各スケジュールを1週間毎に繰り返します

服用中の注意点

●寝る直前の服用は避けるようにしてください。
薬が食道に長くとどまり、潰瘍ができることがあります。

●飲み忘れた場合
服用予定日に気づいた場合、翌日朝に服用してください。
以降は再度1週間毎の内服に戻してください。
2日以上忘れた場合はその週の内服をせず、翌週から服用してください。
翌日に葉酸製剤を飲んでいる場合は、その服用も1日ずらしてください。
迷った時は主治医に相談してください。

絶対に2回分を一度に服用しないでください。 **必ず1回分を服用**

●誤って多く飲んだ場合
主治医または薬剤師に相談してください。

●定期的に血液検査をします。
副作用の早期発見のために必要となります。

●この薬を服用中は一部のワクチン(生ワクチン)は接種できません。
予防接種を受ける際は医師に相談してください。



メトトレキサート内服中 接種できないワクチン

- MR(麻しん風しん混合)ワクチン
- 水痘(みずぼうそう)ワクチン
- おたふくかぜワクチン
- BCG



メトトレキサートについて

メトトレキサートの副作用

この薬の服用中に、下記のような副作用があらわれることがあります。

嘔気・嘔吐

- メトトレキサート内服後～2日間程度、吐き気が起こることがあります。
- 吐きを抑えるために、あらかじめ吐き気止めを飲む場合もあります。
- 吐きが続く場合は、主治医に相談してください。



口内炎

- 口内炎ができてもし少しだけでしたらメトトレキサートを続けても大丈夫です。
- 口内炎用の塗り薬などを使用することもあります。



リンパ節腫脹

- 首や脇の下のリンパ節が腫れて、原因がわからない熱がでる場合は相談してください。

感染症

- 発熱やだるさ、咳が続くなどの症状があるときは注意してください。
- 尿路感染症（膀胱炎・腎盂腎炎）や肺炎、皮膚の感染症など急性の細菌感染症が起きることがあります。



肝障害、貧血などの血球減少

- いずれも初期段階であれば自覚症状はありません。定期的な血液検査で早期発見することが大切です。だるさや息切れなどが強い場合は、早めに相談してください。

副作用緩和のために「葉酸」を処方することがあります。

メトトレキサートは、「葉酸」の働きを抑えることで効果を発揮します。一方で、そのことが副作用の原因の1つとなります。そこで、副作用緩和を目的に、「葉酸」を処方することがあります。処方された場合は、指示通りに服用してください。一方でサプリメントなどによる過剰な葉酸の摂取はメトトレキサートの効果を弱める可能性があるため、注意しましょう。

メトトレキサートについて

メトトレキサートを安全に服用するために

●メトトレキサートの剤形について

メトトレキサートの製剤は錠剤とカプセル剤があります。年齢が小さい患者さんで、薬の大きさで飲みにくいなど服用に関してお困りのことがあれば、主治医・薬剤師に相談してください。

●皮膚などに付着した時の対応

皮膚などにメトトレキサートの粉などが付着した際はすぐに拭き取り、水で洗い流しましょう。

曝露（ばくろ）について

曝露とは治療の目的以外で薬を吸い込んだり、薬が体に付いたりすることをいいます。曝露されると体に影響を及ぼす可能性がある薬は、その取り扱いに注意が必要です。

一般社団法人 日本小児リウマチ学会 ホームページ

お子さまに飲ませる時の注意点

「メトトレキサート (MTX) 曝露対策資料について」



<http://plaza.umin.ac.jp/praj/activities/MTXExpoMeasures.html>

次のページからは、若年性特発性関節炎の
各タイプの特徴、治療法、病気との付き合い方
について紹介しています。



若年性特発性関節炎のタイプ別特徴

全身型

約40%を占める最も多いタイプで、関節炎のほかに、発熱や皮疹などの全身症状があらわれます。

発熱 漿膜炎 (内臓を覆う膜の炎症)

胸やお腹に痛みがあらわれます。

発熱

体温が1日に1℃以上変動する「弛張熱」や、平熱と高熱を繰り返す「間欠熱」が起きます。

高熱時は39℃を超えることも多いです。

肝臓の腫れ 脾臓の腫れ

リンパ節の腫れ

皮疹

発熱時に、体や手足にサーモンピンク色の皮疹があらわれます。かゆみはありません。

関節痛

発症時は関節炎の症状がないこともあります。

注意が必要な合併症

高熱時や風邪をひいた際などに、マクロファージ活性化症候群(MAS)と呼ばれる早急に治療が必要な合併症があらわれることがあります。お子さまがぐったりしているなど、いつもと様子が異なる場合には、すぐに主治医に連絡をしてください。

少関節炎(持続型、進展型)

約20%を占め、発症から6か月までに関節炎が1〜4か所に認められるタイプです。

発症から6か月以降も関節炎が4か所以下の場合は持続型、5か所以上に増える場合は進展型と、さらに分類されます。

ぶどう膜炎(目の中の炎症)

目のかすみ、まぶしさなどの症状がありますが、症状を自覚しにくいことが多いです。

抗核抗体160倍以上の患者さんにおきる可能性が高いとされています。

治療せずにいると視力障害が残ることがありますので、症状がなくても定期的な眼科検診が必要です。

膝、足、手、肘の関節炎

このタイプでは、大きな関節に炎症がおこりやすいです。特に、膝の関節炎が多く、ほかに足、手、肘などに関節炎があらわれやすいです。

また、朝からお昼頃までこわばりがおこることがあります。

若年性特発性関節炎のタイプ別特徴

リウマトイド因子陰性多関節炎

リウマトイド因子陽性多関節炎

約30%を占め、発症から6か月までに、関節炎が5か所以上に認められるタイプです。

血液検査でリウマトイド因子(RF)という成分が検出されない場合を「リウマトイド因子陰性多関節炎」、検出される場合を「リウマトイド因子陽性多関節炎」と分類します。

発熱、倦怠感

ぶどう膜炎(目の中の炎症)

少関節炎より頻度は少ないですが、ぶどう膜炎があらわれることがあります(詳細は13ページ)。

関節炎

指のような小さな関節から膝や手首のような大きな関節まで関節炎が起こります。

左右対称におこることが多いです。
また、朝からお昼頃までこわばりがおこることがあります。

治療について

治療の目的

治療の目的の1つは、関節炎の進行を防ぎ、関節障害が残らないようにすることです。

適切な治療を行わないでいると、関節の骨が破壊されていき、関節の変形や関節が動かせないなどの関節障害が残ってしまうこともあります。診断がついたら速やかに治療をはじめ、治療を継続することが大切です。

また、今ある関節の痛みや腫れ、その他の症状を改善し、普段の生活への支障をできるだけ少なくすることを目指しましょう。

全身型と全身型以外の治療法

全身型と全身型以外のJIAでは治療が異なります。

全身型

全身型では、発熱などの全身症状を抑えることが主な治療目的となります。

治療は、炎症を強力に抑える効果がある「ステロイド」が中心となります。病態が安定した後は少しずつ減量します。しかし、減量中に症状が再発してしまう場合やステロイドを使用しても関節炎の症状が改善しない場合には「生物学的製剤」による治療を検討します。また、関節症状に対して「非ステロイド性抗炎症薬(NSAID)」を使用することがあります。

全身型で主に使う薬

- 非ステロイド性抗炎症薬(NSAID)
- ステロイド
- 生物学的製剤

治療について

全身型以外のタイプ

関節症状の改善を目的に、痛みや炎症を抑える効果がある「非ステロイド性抗炎症薬 (NSAID)」を使用します。

また、各検査により関節の破壊や変形が進行する危険性が高いと判断された場合は、「メトトレキサート」による治療を行います。

NSAIDやメトトレキサートを使用しても症状が改善しない場合には、「生物学的製剤」による治療を検討します。

全身型以外のタイプで主に使う薬

- 非ステロイド性抗炎症薬 (NSAID)
- ステロイド ● メトトレキサート
- 生物学的製剤

治療の経過

治療の経過は病型によって異なります。

長期間に及ぶ治療ですが、発症から10年後で約30%の患者さんが薬がなくても異常がない状態 (寛解) になると言われています。

病気との付き合い方

痛みを我慢させない

痛みは異常を知らせるサインとなりますが、長引く痛みは体だけでなく、心も疲弊させます。そのため、痛みはできる限り治療することが大切です。お子さまには我慢させず、率直に痛みを伝えるようにお話してください。

なお、お子さまの痛みの強さを知る方法の1つとして、「今までで一番強かった痛みを10点、全く痛みがないのを0点としたら、何点？」と聞く方法があります。お子さまが低年齢の場合は、ご両親が評価して医師に伝えてください。

関節に負担をかけない

関節炎がある関節に強い負荷をかけないようにしてください。手に関節炎があれば重いものを持たない、膝に関節炎があれば正座をしたり、走ったりしないようにしてください。

一方で、過剰に関節を動かさないようにするのもいけません。動かさないでいると、その周辺の筋肉が衰えて支障が生じてしまいます。

何をしてもよいのか、何に注意が必要なのか、主治医に確認するようにしてください。

予防接種は主治医に相談してください

免疫を抑える作用のある薬を使用することが多いため、一部のワクチン (生ワクチン) は接種できないことがあります。予防接種を受ける際には、主治医に相談してください。



この治療日誌を利用して、普段の状態を医師に伝えてください。

記入例

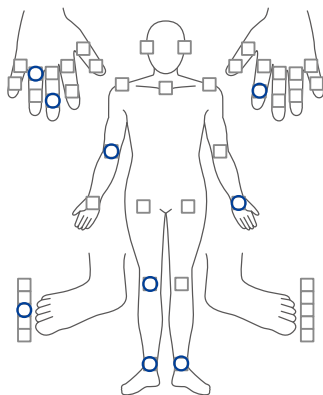


診察日の直前(前日など)
に記入してください

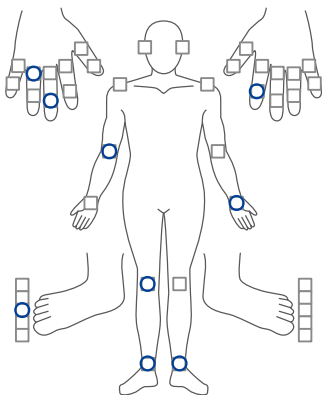
痛み・腫れのある関節に
○をつけてください。

日付 2019 年 6 月 4 日

痛みのある関節



腫れのある関節



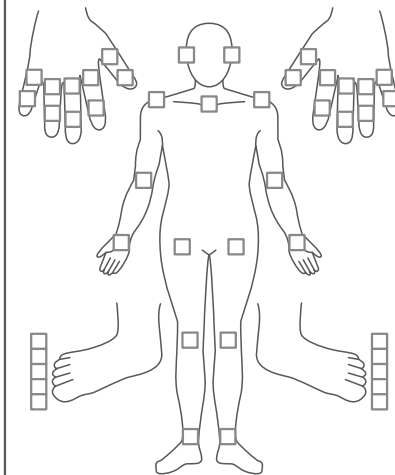
過去1週間の
状態を記
入してくだ
さい。

朝のこわばりの時間	1 時間 00 分		
関節の痛み	痛み なし	最悪な 痛み	
全体的な健康状態	良い	悪い	
周期的な発熱 (弛張熱)	あり・なし	最高体温 39.0 °C	最低体温 36.3 °C
目の症状	あり・なし	(ありの場合:どんな症状がありますか)	
メモ (気になること、医師に 伝えたいことなど)	特に膝の関節が痛いようです		

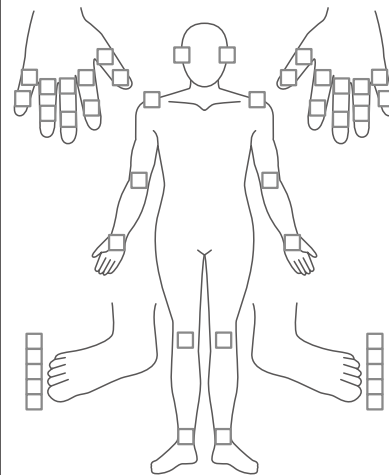
日付

年 月 日

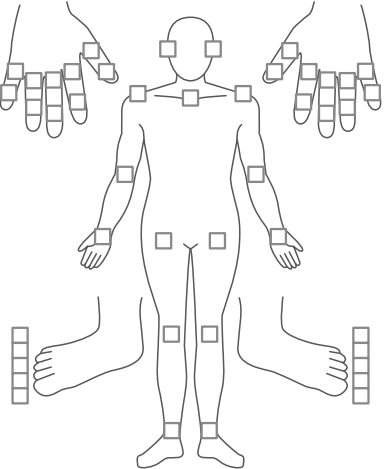
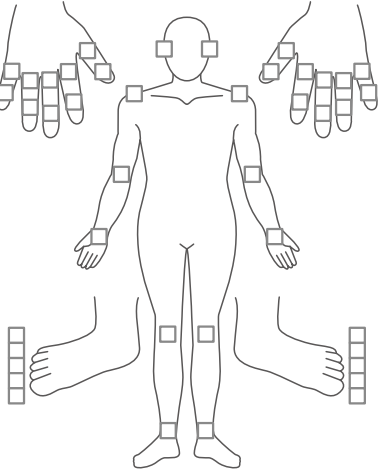
痛みのある関節

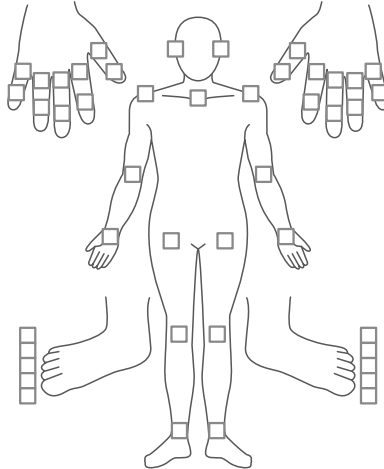
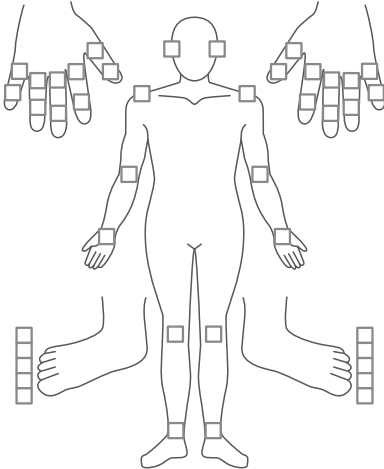


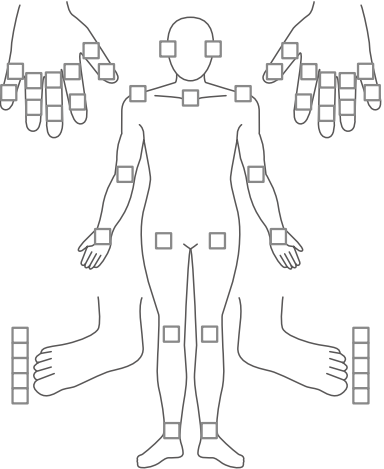
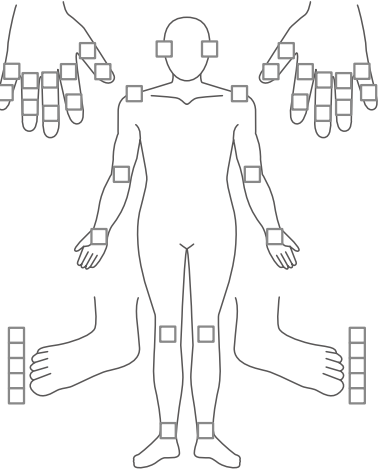
腫れのある関節

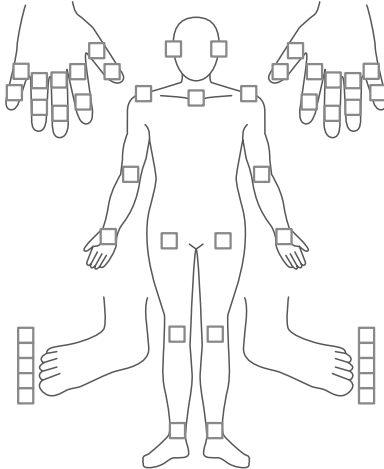
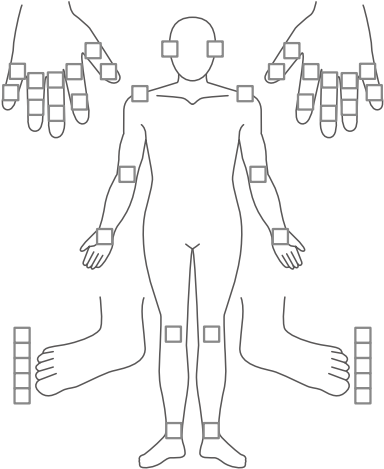


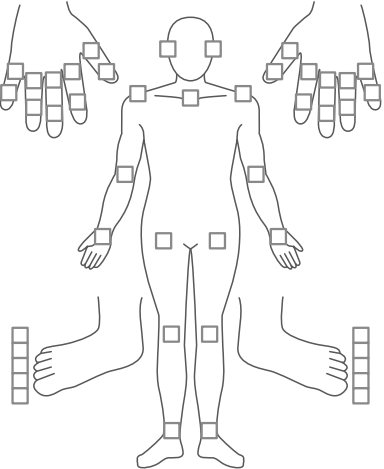
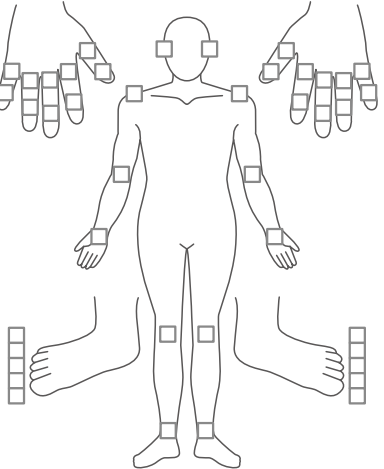
朝のこわばりの時間	時間 分	
関節の痛み	痛み なし	最悪な 痛み
全体的な健康状態	良い	悪い
周期的な発熱 (弛張熱)	あり・なし	最高体温 最低体温 °C °C
目の症状	あり・なし	(ありの場合:どんな症状がありますか)
メモ (気になること、医師に 伝えたいことなど)		

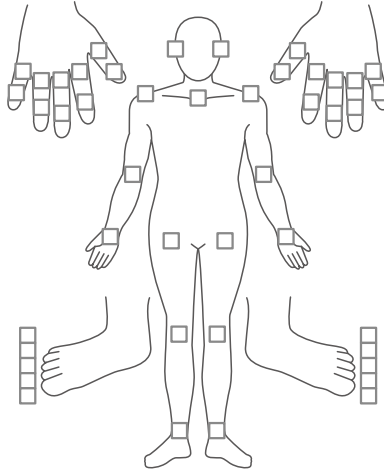
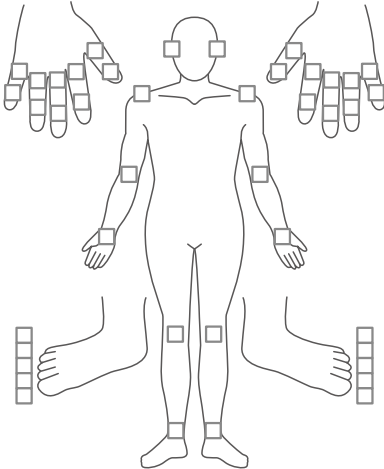
日付	年 月 日	
痛みのある関節	腫れのある関節	
		
朝のこわばりの時間	時間 分	
関節の痛み	痛みなし 最悪な痛み	
全体的な健康状態	良い 悪い	
周期的な発熱 (弛張熱)	あり・なし	最高体温 最低体温 °C °C
目の症状	あり・なし	(ありの場合:どんな症状がありますか)
メモ (気になること、医師に 伝えたいことなど)		

日付	年 月 日	
痛みのある関節	腫れのある関節	
		
朝のこわばりの時間	時間 分	
関節の痛み	痛みなし 最悪な痛み	
全体的な健康状態	良い 悪い	
周期的な発熱 (弛張熱)	あり・なし	最高体温 最低体温 °C °C
目の症状	あり・なし	(ありの場合:どんな症状がありますか)
メモ (気になること、医師に 伝えたいことなど)		

日付	年 月 日	
痛みのある関節	腫れのある関節	
		
朝のこわばりの時間	時間 分	
関節の痛み	痛みなし 最悪な痛み	
全体的な健康状態	良い 悪い	
周期的な発熱 (弛張熱)	あり・なし	最高体温 最低体温 °C °C
目の症状	あり・なし	(ありの場合:どんな症状がありますか)
メモ (気になること、医師に 伝えたいことなど)		

日付	年 月 日	
痛みのある関節	腫れのある関節	
		
朝のこわばりの時間	時間 分	
関節の痛み	痛みなし 最悪な痛み	
全体的な健康状態	良い 悪い	
周期的な発熱 (弛張熱)	あり・なし	最高体温 最低体温 °C °C
目の症状	あり・なし	(ありの場合:どんな症状がありますか)
メモ (気になること、医師に 伝えたいことなど)		

日付	年 月 日	
痛みのある関節	腫れのある関節	
		
朝のこわばりの時間	時間 分	
関節の痛み	痛みなし 最悪な痛み	
全体的な健康状態	良い 悪い	
周期的な発熱 (弛張熱)	あり・なし	最高体温 最低体温 °C °C
目の症状	あり・なし	(ありの場合:どんな症状がありますか)
メモ (気になること、医師に 伝えたいことなど)		

日付	年 月 日	
痛みのある関節	腫れのある関節	
		
朝のこわばりの時間	時間 分	
関節の痛み	痛みなし 最悪な痛み	
全体的な健康状態	良い 悪い	
周期的な発熱 (弛張熱)	あり・なし	最高体温 最低体温 °C °C
目の症状	あり・なし	(ありの場合:どんな症状がありますか)
メモ (気になること、医師に 伝えたいことなど)		

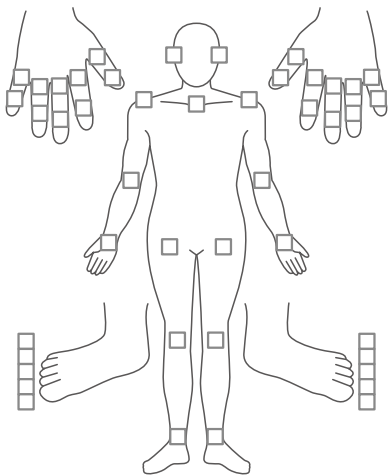
日付

年

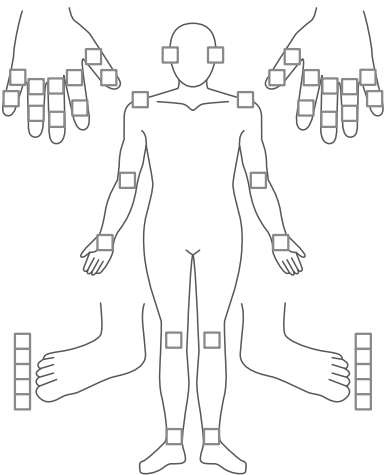
月

日

痛みのある関節



腫れのある関節



朝のこわばりの時間

時間 分

関節の痛み

痛み
なし



最悪な
痛み

全体的な健康状態

良い



悪い

周期的な発熱
(弛張熱)

あり・なし

最高体温

℃

最低体温

℃

(ありの場合:どんな症状がありますか)

目の症状

あり・なし

メモ

(気になること、医師に
伝えたいことなど)

緊急の連絡先

病院・医院名

電話番号

担当医師名

科

お問い合わせ窓口

memo

発行：2019年

監修：一般社団法人 日本小児リウマチ学会

提供：東和薬品株式会社

本冊子の内容を許可なしに複製、複写(コピーなど)、
転載することは法律で認められた場合を除き禁じられ
ています。